

令和4年度上半期の業務状況

1 事業の概況

上半期における業務量は、次のとおりである。

(1) 用水供給の状況

区 分	業務予定量	上期業務量	上期業務量／予定量
年間供給水量	9,036,000m ³	3,994,825m ³	44.2%
一日平均供給水量	24,756m ³	21,830m ³	88.2%

(2) 建設事業の状況

令和4年度は上半期において、令和3年度に引き続き、浄水処理施設の新設工事や札幌市内における送水管の新設工事を行っている。8月からは札幌ポンプ場・分水施設の新設工事にも着手している。

2 経理の状況

上半期における経理の状況は、次のとおりである。

(1) 収益的収入及び支出

区 分	予算額	上期執行額	割合
用水供給事業収益	2,212,883千円	482,765千円	21.8%
用水供給事業費用	2,054,682千円	280,266千円	13.6%

(2) 資本的収入及び支出

区 分	予算額	上期執行額	割合
資本的収入	5,662,717千円	963,216千円	17.0%
資本的支出	6,584,415千円	460,889千円	7.0%

[備考]

一時借入金残高 0円 (令和4年9月30日現在)

企業債未償還残高 13,775,761,021円 (令和4年9月30日現在)

I 令和3年度石狩西部広域水道企業団水道用水供給事業決算の概要

本年度の水道用水供給事業は、用水供給開始9年次目として、安全で安心な水を安定的に供給するため、現有施設の適切な維持管理等を実施するとともに、第2期創設事業の5年次目として、浄水場、札幌ポンプ場・分水施設及び送水管の実施設計、浄水池、浄水処理施設及び送水管の新設工事等を行った。

なお、令和3年度決算の概要は、以下のとおりである。

1 予算の執行

(1) 収益的収入及び支出

収入では、

予 算 額 円	決 算 額 円	予算額に対する増減△ 円	収 入 率 %
2,107,454,000	2,040,447,605	△ 67,006,395	96.8

支出では、

予 算 額 円	決 算 額 円	不 用 額 円	執 行 率 %
1,934,227,000	1,849,313,081	84,913,919	95.6

となり、収益的収入支出差引において、予定残額173,227,000円に対し、決算では191,134,524円の残額で、差引17,907,524円の好転となった。

(2) 資本的収入及び支出

収入では、

予 算 額 円	決 算 額 円	予算額に対する増減△ 円	収 入 率 %
4,177,014,000	3,152,032,000	△ 1,024,982,000	75.5

支出では、

予 算 額 円	決 算 額 円	不 用 額 円	執 行 率 %
5,019,346,000	3,994,474,452	1,024,871,548	79.6

となった。

2 建設改良事業の概況

建設改良費の総額は、3,153,203,542円で、この内容は、

創設事業費 3,150,785,361円

固定資産取得費 335,500円

支払利息 2,082,681円

となった。

3 業務の概況

供給水量等については、

区 分	業 務 量
年 間 基 本 (有 収) 水 量	9,015,500 m ³
年 間 供 給 水 量	8,090,422
1 日 最 大 供 給 水 量	24,932
1 日 平 均 供 給 水 量	22,166

となった。